

## ■地方創生とは？

日本の人口は平成20(2008)年の約1億2800万人をピークに減少がはじまり、このまま推移すれば、今後人口減少が加速化し、平成72(2060)年には約8700万人まで減少するとされています。

国では、こうした急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京一極集中を是正し、それぞれの地域が豊かな魅力ある社会を形成することで、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、「地方創生」の取り組みを進めています。

## ■湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略とは？

本市でも、「地方創生」の取り組みを進めるために、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく地方版総合戦略として、平成27年10月に策定しました。この総合戦略の策定にあたっては、「湖南省まち・ひと・しごと戦略茶話会」を立ち上げ、本市の課題を把握・整理し、その解消に向けて、市民の皆さんと検討しました。

## 湖南省の今後の予測とめざすべき方向は？



平成22(2010)年に54612人あった本市の人口は、平成72(2060)年に34442人(63%)まで減少すると予測されており、そのうち65歳以上の人口が全体の40%を超えるとされています。

このような大幅な人口減少と高齢化を防ぐための対策として、次の2つに取り組みます。

- ①合計特殊出生率を人口置換水準(人口規模が維持される水準)の2.07を上回る水準へと向上させ、長期的な人口規模の安定と人口構造の若返りを図る。
- ②転出抑制と転入増加により、転入超過状態を継続させ人口規模の確保を図る。

これらの方向性に沿った取り組みを進め、平成72(2060)年までの人口減少率を、10%程度に抑えることをめざします。

### 合計特殊出生率

15～49歳の女性の年齢別出生率を合計した数値で「1人の女性が生涯に産む子どもの数」を推定する指標。

## 地方創生

# 湖南省きらめき・ときめき・元気創生

# 総合戦略

(対象期間:平成27年度～31年度)

問地域創生推進課(東庁舎)

☎71・2316 ☎72・2000

## 1働く場の創出プラン

### 基本的方向①「安定した雇用を創出する」

強みのある産業を中心に関連業種の集積を図ったり、立地優位性を生かして物流拠点を創出するとともに、農産物の6次産業化や地域に根差した商工業の振興など、産業力を強化します。

また、若者・女性が働きやすい職場の確保や起業支援、情報通信技術を利用した在宅ワークなど多様な働き方の実現を支援し、働きがいと所得の向上を図ります。

産業力の強化



多様な雇用・働き方の実現



## 2ひとへの投資プラン

### 基本的方向②「新しいひとの流れをつくる」

### 基本的方向③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

人や地域の支えあう気持ちを育み、特色あるふるさとづくりを進めるとともに、移住促進のための情報一元化、わかりやすい発信にも取り組みます。

また、湖南省の認知度の向上、ブランドの確立を図り、市民の誇りと愛着の醸成により、移住・定住の増加につなげます。

さらに、若者の社会参画を促進するとともに、結婚、出産、子育ての支援策を切れ目なく実施し、将来に希望が感じられる地域社会の実現を図ります。

結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援



## 3まちづくりプラン

### 基本的方向④「時代にあった地域づくり」

### 基本的方向⑤「安心して暮らせる住環境整備」

エネルギーや資源の域内循環システムの確立、市民との協働のまちづくり、公有財産の有効活用、維持管理の効率化などにより持続可能なまちづくりを進めます。

また、地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りのしくみなど安心・安全な地域社会づくりとともに、子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークを充実させ、安心して暮らせる基盤づくりを進めます。

地域の自然エネルギーを活用した地域活性化の推進



交通ネットワークの充実



## 総合戦略

# 3つのプラン

人口減少への歯止め、若々しいまちの実現には、地域で支え合う子育て環境、暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要です。この3つのプランを今後の施策の柱と位置付け、その課題に向けた施策を展開します。

「湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略」の詳細は、市ホームページに掲載しています。

スマホはこちらから↓

